



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2020

「八ヶ岳カラマツチェンバロ・プロジェクト」 第6回ウッドデザイン賞 2020 ＝優秀賞(林野庁長官賞)受賞＝



株式会社八ヶ岳高原ロッジ(代表取締役社長:岩見 和敏)が管理運営する「八ヶ岳高原音楽堂」の開館30周年(2018年)に、地場の樹齢110年のカラマツ材で「チェンバロ」を製作し、「自然と人と文化の共生」を伝える演奏会を継続開催する取り組み[八ヶ岳カラマツチェンバロ・プロジェクト]が、このたび、林野庁補助事業「第6回ウッドデザイン賞2020」優秀賞(林野庁長官賞)を受賞いたしました。

(共同応募:久保田チェンバロ工房、双葉林業合資会社、株式会社そごう・西武)

＜ウッドデザイン賞について＞

国産材の積極的な利用を促進し、木の価値を再発見できる製品や取組について、特に優れたものを評価する顕彰制度。木のある豊かな暮らしが普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としている。主催:ウッドデザイン賞運営事務局 <https://www.wooddesign.jp/>

■「自然と人と文化の共生」を理念に、この地で50余年ー

過放牧により治水能力さえ失った牧場跡地に33万本のカラマツを植える事から開発を始めた「八ヶ岳高原海の口自然郷」は、開発から50余年を経て、日本最大級のリゾート地へと成長しました。

1975年開業のリゾートホテル「八ヶ岳高原ロッジ」、登録有形文化財「八ヶ岳高原ヒュッテ」、そして20世紀最大のピアニストと称されるスヴァトスラフ・リヒテルの提案と、日本を代表する建築家・吉村順三の設計で、1988年に完成した「八ヶ岳高原音楽堂」を有し、自然と人がふれあい、人と人が出会い、薫り高い文化に包まれる、理想的なリゾートづくりを目指しています。



開発当初 荒れ果てた牧場跡地



現在 美しい景観の自然郷



八ヶ岳カラマツチェンバロは、豪華な装飾一般的なチェンバロに対して、カラマツの木目を生かした美しいデザインが特徴です。私たちの願いは、木のぬくもりに溢れた美しい音色を次世代に伝えること。「時代を超えて、私たちを癒し、感動させてくれる音楽」と「いつの時代も変わることなく私たちの暮らしを豊かにしてくれている森林」。大自然に調和した「八ヶ岳高原音楽堂」で聴く「森の音楽会」は、自然と共生することの素晴らしさを伝えてまいります。

ウッドデザイン賞 2020 表彰式

日時:12月18日(金)15:00～

場所:木材会館(東京・新木場)

※表彰式の様子はオンライン映像配信
<https://project.nikkeibp.co.jp/event/2020z1218srh/> ※視聴は要事前登録

■ 八ヶ岳カラマツチェンバロ・コンサート

開催日/2021年2月7日(日)、3月28日(日)、4月25日(日)

時間 / 13:15 開場 / 13:45 開演 (約45分間)

料金 / 1,600円(全席自由) ※小・中学生無料(ジュニアガイド配布)

内容 / バロック音楽の名曲から、映画音楽まで



ウッドデザイン賞【上位賞作品発表リリース】 https://www.wooddesign.jp/pdf/wooddesign2020_release1211.pdf

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社八ヶ岳高原ロッジ 東京事務所 03-3984-2219 蕪木(カブラキ)、富田